

令和6年度第1回我孫子市子ども・子育て会議 会議概要

1. 開催日時 令和6年6月15日（土）9：30～10：30

2. 開催場所 分館大会議室（オンライン）

3. 出席者

委員 箕輪会長、菅井副会長、増田委員、菅原委員、太田委員、鈴木委員、
大島委員、小澤委員 以上8名

（欠席：布施委員、松澤委員、野崎委員 以上3名）

市職員 星部長、石山保育課長、鈴木子ども相談課長、三澤こども発達センター所長
事務局 阿部次長（兼子ども支援課長）、三宅主幹、渡邊係長、成瀬主任主事

4. 議題

（1）令和5年度 実績報告

（2）ニーズ調査 調査結果報告書について

（3）次期子ども総合計画策定について

（4）放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について

5. その他

・各課からの報告

・次回会議の日程について

6. 配布資料

資料1 我孫子市子ども・子育て会議委員名簿

資料2-1 子ども総合計画 重点事業 令和5年度 実績報告 第4章関係

資料2-2 子ども・子育て支援事業 令和5年度 実績報告 第5章関係

資料2-3 進行管理表入力要領

資料2-4 事業評価の基準

資料2-5 第4章 評価別事業名一覧（A3）

資料2-6 第5章 評価別事業名一覧（A4）

資料3 第五次我孫子市子ども総合計画 計画の位置づけ

資料4 第五次我孫子市子ども総合計画策定に向けた施策体系 骨子案

資料5 我孫子市放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について（依頼）

資料6 令和6年度子ども・子育て会議日程

子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査 調査結果報告書

子ども部の概要

7. 議事要旨

【事務局（阿部子ども支援課長）】（議題までは子ども支援課長が議事進行を務める）

資料の確認、新委員の紹介、出席者7名（箕輪会長未入室）により会議の成立を報告し、議事概要作成のための録音について了承を得た。また、オンライン会議のため傍聴人なしを報告した。

【子ども部長 星】

— 星部長挨拶 —

【事務局（阿部子ども支援課長）】

以後の議事進行は、我孫子市子ども・子育て会議条例第6条第1項により、箕輪会長が務める予定だが、現在未入室のため、入室までは事務局で議事進行を務める旨、了承を得た。

次第に沿って、議事を進めます。

議題①「令和5年度 実績報告」について、事務局より説明をお願いします。

【事務局（渡邊係長）】

— 議題①令和5年度 実績報告について、説明 —

【事務局（阿部子ども支援課長）】

何かご質問などはありますか。

太田委員、お願いします。

【太田委員】

No.72「教育支援センターの運営」についてです。

指標の年度実績は18.0%で、目標値より低いですが、これは校内教育支援センターが設置されたことによるものだと思いますし、校内教育支援センターの設置数が増えていることは評価できます。

しかし、学校では、スクールカウンセラーや心の教室相談員、校長、教頭、担任、指導員など、たくさんの方が校内教育支援センターに関わっており、各校の校内教育支援センターの考え方・思いと市の教育支援センターの考え方・思いが一致していないのではないかと懸念しています。各学校の裁量に任せてしまっているために、学校間で格差が生じているように感じます。今後は、教育支援センターの職員が核となり、ガイドラインの作成に尽力してい

ただきたいと思っています。ガイドラインができれば、校内教育支援センターがより良く機能するようになると思います。

【事務局（阿部子ども支援課長）】

太田委員、ありがとうございました。

箕輪会長が入室されましたので、ここからの議事進行は箕輪会長にお願いします。

【箕輪会長】

議事進行を務めさせていただきます。

他に、ご意見、ご質問などがある委員はいらっしゃいますか。

増田委員、いかがでしょうか。

【増田委員】

特にありません。

【箕輪会長】

ありがとうございます。大島委員、いかがでしょうか。

【大島委員】

資料2-5で、「教育支援センターの運営」と「児童生徒からの悩み相談ホットライン」だけフォントの色が異なりますが、何か理由がありますか。

【事務局（成瀬主任主事）】

こちらは、中間見直しの際に事業名を改めた事業です。フォントの色については事務局での修正漏れです。申し訳ありませんでした。

【箕輪会長】

ありがとうございます。菅原委員、いかがでしょうか。

【菅原委員】

特にありません。

【箕輪会長】

ありがとうございました。鈴木委員、いかがでしょうか。

【鈴木委員】

No.54「幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携」についてです。

年々交流回数が増え、幼稚園・保育園・認定こども園などから小学校へなめらかにつながるような取り組みが行われていることに感謝しています。

一方で、教師の交流も必要だと感じています。年長さんが園で最年長児としていろいろな活動に意欲的に取り組み、生活している様子を小学校の先生方にも見ていただく機会を是非つくっていただきたいと思います。園から小学校に行く機会をつくっていただいていますので、逆の機会もつくっていただけたらと思います。

【箕輪会長】

事務局から、今のご質問に対して説明などがありましたら、お願いします。

【石山保育課長】

幼保小の連携で、小学校の参観、保育園・幼稚園などの参観、全体研修を実施しています。コロナ禍では全体研修を行っていましたが、今年度は園参観の年となっており、園に小学校の先生が行くことになっています。その際に、今お話いただいたようなご意見をお伝えいただけたらと思います。

【鈴木委員】

ありがとうございます。楽しみにしています。

【箕輪会長】

小澤委員、いかがでしょうか。

【小澤委員】

特にありません。

【箕輪会長】

菅井委員、いかがでしょうか。

【菅井副会長】

特にありません。

【箕輪会長】

ありがとうございます。私からも1件よろしいでしょうか。

No.67「ライフダイアリー普及事業」についてです。平成30年度実績が1回、目標値が令和6年度末で2回となっていますが、令和2年度から令和5年度までの実績はいずれの年も0回となっています。説明会が開催できなかったとありますので、コロナの影響が大きいと思いますが、令和6年度も0回となるのでしょうか。声かけなど、活用を促す働きかけは行っているようなので、次期計画では指標の見直しなどを検討していただけたらと思います。

【三澤こども発達センター所長】

弱いお子さんが通う施設なので、コロナ禍では人が集まる会議や説明会を避けて運営してきました。説明会を開催できなかったため、実績0回が続いていますが、父母の交流も大切だと考えています。コロナが5類に移行したことから、状況を見ながらにはなりますが、今年度は父母会も開催し、ライフダイアリーについての説明も行いたいと思っています。また、指標や事業の内容などについても、見直しを検討していきます。

【箕輪会長】

ご回答いただき、ありがとうございました。

他にご意見のある委員はいらっしゃいますか。

太田委員、お願いします。

【太田委員】

No.83「いじめ防止対策事業」についてです。

中間見直しにより、指標をいじめ防止等に関する取組の実施回数から、いじめ件数の解消率に変更し、令和4年度実績が100%、令和5年度実績が97.8%となっています。この97.8%の分母と分子について、いじめに関するアンケート結果より把握されているいじめの件数を教えてください。

【箕輪会長】

ありがとうございます。事務局からご回答をお願いします。

【鈴木子ども相談課長】

本日は資料を持ち合わせていないため、件数については後日改めて回答します。

【太田委員】

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

【箕輪会長】

ありがとうございました。

それでは、次に、議題②「ニーズ調査 調査結果報告書」について、事務局より説明をお願いします。

【事務局（成瀬主任主事）】

— 市民調査について、説明 —

【箕輪会長】

ありがとうございます。

皆さま、ご確認いただきますようお願いいたします。

続きまして、議題③「次期子ども総合計画策定について」事務局より説明をお願いします。

【事務局（三宅主幹）】

— 議題③次期子ども総合計画策定について、説明 —

【事務局（渡邊係長）】

— 骨子案について、説明 —

【箕輪会長】

ご説明ありがとうございました。

骨子案について、何かご意見、ご質問などはありますか。

菅井委員、お願いいたします。

【菅井副会長】

ご説明いただきました基本理念について、「すべての子ども」から次期計画では「こども」に変更し、「すべて」を除くことになっていますが、理由などがあればお聞かせください。

【事務局（渡邊係長）】

「こども」＝「すべての子ども」という捉え方で、ひらがな表記の「こども」は「すべて」を含んでいるため、「すべての」を除くというのが事務局案です。

【菅井副会長】

計画書の中で表記についての説明はされるのでしょうか。

【事務局（渡邊係長）】

はい、計画の対象に明記し、基本理念の説明の中にも書き加える予定でいます。

【菅井副会長】

わかりました。ありがとうございます。

【箕輪会長】

他にご意見のある委員はいらっしゃいますか。

小澤委員、お願いします。

【小澤委員】

ひらがなの「こども」は「すべての」を含んでいるというご説明でしたが、理念は計画の中心なので、現計画同様、やはり「すべての」を加えた方が良いと思います。

【箕輪会長】

ありがとうございます。

事務局でご検討をお願いできますでしょうか。

他にご意見のある委員はいらっしゃいますか。

最後に、1点だけ確認させていただきたいのですが、基本施策に各事業を紐づけた後、今後の子ども・子育て会議に諮っていただけるという認識でよろしいでしょうか。

【事務局（成瀬主任主事）】

はい、その予定です。

【箕輪会長】

ありがとうございます。

では、次の議題に移ります。議題④「放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について」事務局より説明をお願いします。

【事務局（成瀬主任主事）】

— 議題④放課後対策事業運営委員会の委員の推薦について、説明 —

【箕輪会長】

どなたか立候補される方はいらっしゃいますか。

もしいらっしゃらなければ、事務局案として、鈴木委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、子ども・子育て会議といたしまして、鈴木委員を推薦いたします。

鈴木委員、ひとつご挨拶をお願いします。

【鈴木委員】

放課後対策事業運営委員会への参加は今回が初めてとなりますが、子ども・子育て会議からご意見などがあれば、伝えていきたいと思えます。

【箕輪会長】

ありがとうございました。

それでは、次に、次第の4.その他として、各課からの報告をお願いします。

【鈴木子ども相談課長】

— 我孫子市LINE公式アカウントを活用した子ども・子育て相談窓口について、説明 —

- ・ 5月16日（木）より開始した。
- ・ 6月14日（金）現在で7件の相談を受け付けた。（すべて保護者からの相談）
- ・ 主な相談内容は、お子さんの発達のこと、思春期のお子さんとの関わり方など
- ・ 相談内容により、子ども（本人）からの相談、子どもに関する保護者からの相談、ヤングケアラーに関する相談の3種類の入口を設けている。
- ・ 回答は当日または翌開庁日までに行っている。
- ・ 必要に応じて、専門的な関係機関と連携し、困りごとの解消につなげる。
- ・ 1歳6か月児、3歳児健康診査時や学校を通じて配付するなど、周知の方法を検討する。

— ヤングケアラーコーディネーターについて、説明 —

- ・LINEを活用した子ども・子育て相談窓口の開設にあたり、ヤングケアラーコーディネーターとして、心理相談員を1名配置した。
- ・ヤングケアラーコーディネーターは、ヤングケアラーに関するさまざまな相談に応じ、助言を行うとともに、関係機関などと連携して適切な支援につなぐ役割を担う。
- ・今年度は8月にヤングケアラー関係機関等職員研修を開催予定で、現在企画している。
- ・子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律が6月12日に施行され、ヤングケアラーへの支援が明記されたことで、都道府県、市町村としての役割も明確となった。

【菅井副会長】

ありがとうございました。

最後に、「次回会議の日程について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局（成瀬主任主事）】

— 次回会議の日程について、説明 —

- ・第2回：令和6年7月19日（金）AM

【箕輪会長】

本日予定していた議題はすべて終了しました。

これで、令和6年度第1回我孫子市子ども・子育て会議を閉会します。長時間にわたりおつかれさまでした。次回もよろしくお願いいたします。

～ 終了 ～